



陽光台小

つくばみらい市立
陽光台小学校
学校だより 4月号
令和8年4月13日
児童数 947名

始業式 学校長からのメッセージ



おはようございます。元気な声が返ってきてうれしいです。
今日から新しい学年が始まります。皆さん、進級おめでとうございます。
早く学校に行きたいなと思っていた人が、たくさんいてうれしいです。学校には、たくさんの友だちが待っていますからね。
新しい担任の先生、新しい友達、新しい教室、新しい教科書、どきどき、わくわくしながら今日を待っていたのではないのでしょうか。
ここから、皆さんの顔を見ると、やる気いっぱい輝いて見えます。是非、今の気持ちを大切に持ち続け、頑張ってください。
今、6年生の代表の児童から、1年間頑張りたいことを発表してもらいました。たいへん素晴らしい内容でしたね。みなさんは、今年1年、どんな年にしたいと思っていますか？目標は立てられましたか？新たな夢はありますか？
昨年、皆さんの心にとめて、1年間生活してほしいことがありますと言って、陽光台小学校の「あいうえお」の話をしました。あいつ、一生懸命、運動、笑顔、お話しして、感謝の「か」を付け加えて「あいうえお か」を心にとめて生活してもらいました。
「ありがとう」の気持ちは 言葉にしないと相手へ伝えることができません。ぜひ、感謝の気持ちを現すことをもっともっと増やしてください。「あいうえお か」ときたら次は「き」ですね。だから、今年度は「き」「協力」を加えてください。
ジグソーパズルって、全部同じ形のピースじゃないんですね。少しずつ形が違ってはいるんですね。凹凸を上手に組み合わせることで、素敵な絵が完成するんですね。
クラスや学校にもいろいろな友達がいます。足が速い人、絵が得意な人、お掃除を頑張る人。足りないところを助け合うことで、クラスや、陽光台小学校という、大きなパズルを完成させてほしいです。
誰かのために動くこと、そして困ったときは素直に誰かを頼ること。この『協力』ができるようになると、みんなの世界はもっと広がって、もっと楽しくなります。
令和8年度は「あいうえお かき」を心に止めて生活してほしいです。
しっかり聞いてくれて「ありがとう」。

令和8年4月8日 学校長 大藤 正晴

6年児童代表あいさつ 「責任と挑戦」

今年、ぼくにとって小学校生活最後の年になります。この1年、ぼくは「責任」と「挑戦」を意識して生活していきたいです。
まず、「責任」についてです。六年生は、学校の中でも一番上の学年なので、下の学年のお手本になることが大切だと思います。だから、まず今年、忘れ物をしないようにしたり、時間を守ったりするなど当たり前のことを大切にしていきたいです。そして、係や当番の仕事を最後までしっかりとやり、自分のやるべきことをきちんと果たしていきたいです。また、学校のリーダーとして、委員会やクラブ活動の中心となって、一つ一つの行動に責任をもって学校をまとめられるよう目指していきたいです。
次に、「挑戦」では自分が苦手なことにも積極的に挑戦していきたいです。例えば、まず自主学習をもっとがんばりたいです。これまでは、学校の勉強はがんばってきましたが、自分から進んで勉強することはあまり得意ではありませんでした。今年、自分から進んで学ぶことに挑戦したいです。また、授業で自分の考えを一回でも多く伝えることや体育で苦手な技に取り組むこともがんばりたいです。もし、うまくいかないことがあっても、あきらめずに取り組んで自分の成長につなげていきたいです。
ぼくは、この「責任」と「挑戦」を意識して生活することで、卒業する時に、「この1年がんばってよかった」とむねを張って言えるように、一日一日を大切に過ごしていきたいです。



始業式

入学式の準備①

入学式の準備②

入学式の準備③